

# 令和4年度 社会福祉法人朝日町社会福祉協議会 事業報告



社会福祉法人朝日町社会福祉協議会

# 福祉資金・寄付のご報告



あたたかい志 ありがとうございました

～世帯より朝日町社会福祉協議会への会費～

**3,367,300円 (850円/1世帯)**

～住民の皆さま(個人・団体)からのご寄付～

**857,421円 (延べ30件)**

# 法人運営事業

職員の人件費、役員報償費、社協事務局運営に係る経費、  
朝日ふくしフェスティバル開催

## 第4回朝日ふくしフェスティバルの開催



10月29日(土)アゼリアホールで、新型コロナウイルス感染症により第2回・第3回と中止になってしまった、朝日ふくしフェスティバルを3年ぶりに開催しました。

フェスティバルを運営するボランティアと、フェスティバルで活動発表するボランティアのお互いが、コロナ禍でなかなか会うことが出来なかった3年ぶりの再会を喜びあい、互いに変わらないボランティア活動への想いを再び共有されました。

# 地域福祉推進事業

ケアネット活動の推進、第5次朝日町地域福祉活動計画策定、  
生活支援コーディネーターによる高齢者ニーズ把握、福祉総合相談

## ケアネット活動コーディネーター研修会の開催



富山県社会福祉協議会と共催し、15市町村社協に配置されているケアネット活動コーディネーターの研修会を五叉路クロスファイブで開催しました。泊三区社会福祉協議会からのご協力もあり、同区に住む課題を抱えた方についての事例を深めました。個別課題を地域ぐるみで考えることで互助を中心とした支援のアイデアを導きだしました。

※令和4年度ケアネット活動 見守り・ゴミ出しなど**12,808**回 **56**チームが活躍

# 介護予防支援事業

ふれあいきいきサロンや介護予防教室の開催、  
介護自動車や車いすの貸出し、冬期入浴送迎サービス

## 各地区で活気あふれる、ふれあいきいきサロン



コロナ禍終息の動きも相まって、町内各地でふれあいきいきサロンや健康体操教室の開催が増えてきました。感染予防に留意しながらの、お茶会を行うサロンも増えてきており、以前のようなおしゃべりでの交流も楽しめるようになってきています。

※令和4年度いきいきサロン **679**回開催 延べ**7,642**人参加

# ボランティアセンター活動事業

ボランティアコーディネーターやボランティアセンターの設置やその活動、福祉教育の推進

## ボランティア座談会(おしゃべりカフェ)

ボランティア活動者同士が集い情報交換を行い、コロナ禍におけるボランティア活動を模索しつつ、ボランティア活動に対する意欲・機運を再び高めました。



## ボランティア情報誌(ハートフル通信)の発行

令和4年度も8月と1月にハートフル通信を発行し全戸配布しました。



## 福祉教育講演会

みんなで考える福祉のまちづくり  
～災害支援やボランティア活動を通じて～

にいがた災害ボランティアネットワークによる災害支援や、赤十字奉仕団のボランティア活動、地区社会福祉協議会でのケアネット活動・ふれあいいいききサロンについてを学び、グループワークで災害時にも活かせる日頃の支え合いや繋がりを、地域でどのように醸成するかを考えました。町民参加型の福祉教育の機会となりました。



# 共同募金配分金事業

赤い羽根共同募金による地域見守りやボランティア、障がい者交流

## スポーツを通じた障がい者交流



障がいの有無や老若男女を問わずに、手軽にできるスポーツを通じ交流することで、障がいへの理解を深めスポーツの楽しさを発見することを目的に、障がい者交流会を開催しました。

11月8日はカルチャーセンターみやざきで卓球バレー等、12月17日はサンリーナでフライングディスク等を参加者は笑顔で楽しみました。またそれぞれの障がい特性に触れることで、相互理解につながる福祉教育の機会となりました。

# 日常生活自立支援事業

認知症や障害のある方の金銭管理や家計管理、福祉サービス利用・行政手続きの援助

## 令和4年度、延べ9人を支援



判断能力はあるが金銭管理に課題がある、事業利用者の通帳をお預かりして、利用者が福祉サービスを使いつつ安心して生活できるよう、**支払いの代行**や**適切な生活費渡し**、**行政手続き**を支援しました。

利用者の判断能力が衰えた場合は、朝日町役場内に設置された「朝日町成年後見支援センター」と連携し、利用者の権利擁護を支えています。

8 ※令和5年4月1日現在の利用者：6名

# 生活福祉自立支援事業

資金の貸付・相談（コロナ特例貸付を含む）や生活困窮者への支援・相談  
ひきこもりの当事者や家族への相談

## 生活福祉資金貸付（コロナ特例） 令和4年9月終了

- 貸付対象：新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業・失業等により収入減少があり、生計維持のための貸付を必要とする世帯。
- 相談件数：12件（うち申請数4件）

※令和5年1月より令和2・3年度貸付分の償還が開始

令和4年度は食生活改善推進連絡協議会様のフードドライブを継続して受け付けると共に、新たににいかわ信用金庫泊支店様からの定期的なフードドライブも受け付け始めました。また富山県女性財団の事業を活用し、衛生・生理用品を確保しました。

無償配布（随時）を通じ生活困窮世帯への配布しています。併せて民生委員児童委員からご協力をいただき、同世帯の課題把握をしています。



食生活改善推進連絡協議会様



にいかわ信用金庫泊支店様



小・中学校への衛生・生理用品を寄贈

# 介護予防・日常生活支援総合事業

「訪問型サービスA」事業として、「朝日町社協訪問サービスセンターげんき」訪問スタッフの  
介護予防サービス（家事援助）

## 朝日町社協訪問サービスセンター げんきの始動

<p>目的と手法</p>	<p>居宅サービスにおける訪問介護よりも、<u>人員等の基準を緩和することにより、担い手の幅を広げ、その担い手により生活援助に特化したサービス</u>を提供することで、要支援者等が自立した日常生活を営むことができるよう、生活機能の維持または向上を目指す。<u>住民同士の支え合いを醸成する社会福祉協議会の強みを活かせる手法。</u></p>
<p>従事者の資格</p>	<p>介護福祉士または 介護職員初任者研修課程修了者 または <u>新川地域介護保険組合・ケーブルテレビ事業組合が定める研修修了者</u></p>
<p>サービス内容</p>	<p>・<u>生活援助</u>（掃除、洗濯、買い物、調理等）</p>
<p>サービス対象者</p>	<p>要支援 1, 2 事業対象者</p>



令和4年7月より始動し、現在**6名のスタッフ**（従事者）により**6名の利用契約者**の生活援助がなされています。

援助内容：掃除、買い物代行など  
令和4年度の延べ利用者：**8名**

# 中島奨学資金給与事業

中島正子氏の寄付金を原資にし、経済的な理由により、大学などの修学が困難な場合、  
給付する福祉奨学金



中島正子様からのあたたかいご寄付を、経済的理由で学費支弁が困難な学生に奨学金を給与しています。

- 要件
- ①世帯収入が基準以下であること(世帯状況により基準は異なる)
  - ②保護者等が町内に住所を有していること、経済的理由で学費支弁が困難な者
  - ③身体強健かつ品行方正で学業成績が優秀な者
  - ④大学、短大及びこれに準ずる学校に在学し、学校長の推薦がある者
  - ⑤町の奨学金受給決定者以外

金額 大学等(修業年限が2年以上)…月額15,000円

※令和4年度、奨学金受給決定者はいませんでした。

# 基金運営事業

朝日町社会福祉協議会で保有している基金の運用



令和4年度、社協事業運営のための基金取崩はありませんでした。

## 【参考】基金残高

ボランティア基金	1,000,000円	社会福祉事業基金	12,472,485円
教育振興基金	13,712,251円	財政調整基金	164,000円
保険積立金	4,914,689円	計	<b>32,263,425円</b>